

JR EF510 300形 量産車

◆実車ガイド

- ・EF510形300番代は九州で運行しているED76・EF81形の置き換えを目的として登場した交直流電気機関車です
- ・直流区間の走行が多かった従来の0・500番代では発電ブレーキを搭載していましたが、300番代では交流区間の走行がメインとなることから交流回生ブレーキを搭載しています
- ・塗色はEF81形300番代を受け継いだ銀色をベースに車体下部に紺色と赤帯を配したデザインとなっており、また従来のEF510形の愛称「ECO-POWER レッドサンダー」を継承し車体側面にはロゴが配置されています
- ・2024年に量産車が登場、同年3月より運用を開始し主に鹿児島本線・日豊本線にて活躍をしています
- ・302号機以降の量産車は側面や屋根上機器のルーバーが一部塞がれており、量産先行車の301号機との外観上の違いとして特徴となっています

【文責:トミーテック】



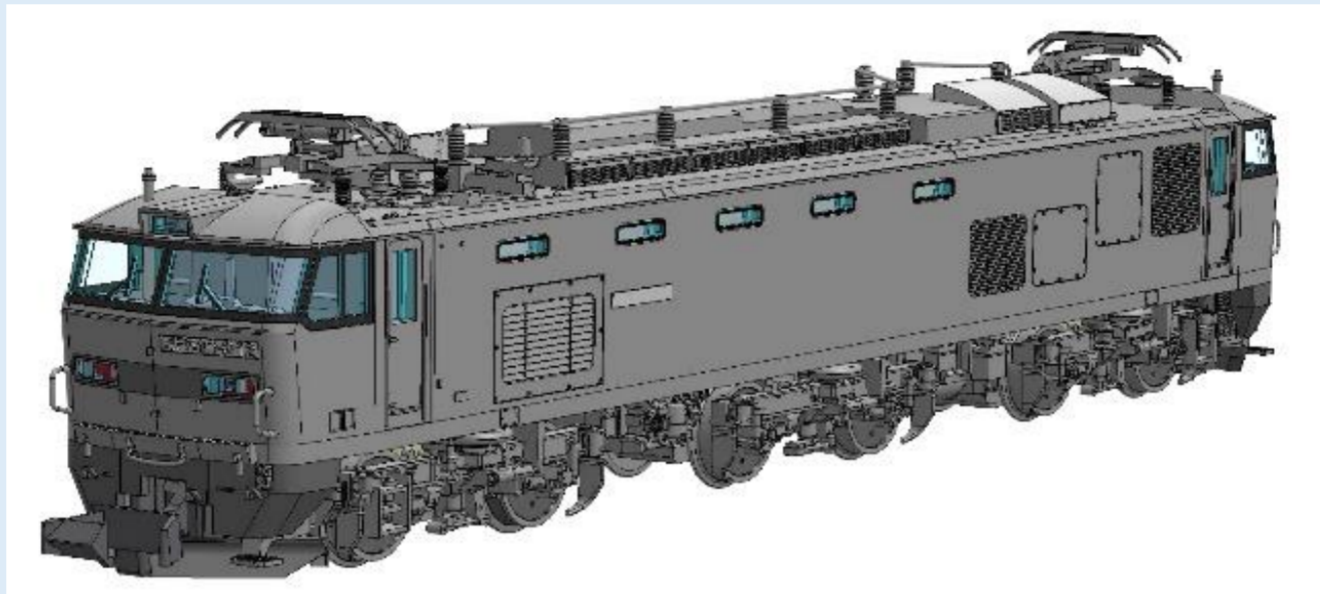
写真:宇都宮 靖顕

※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆ここがポイント

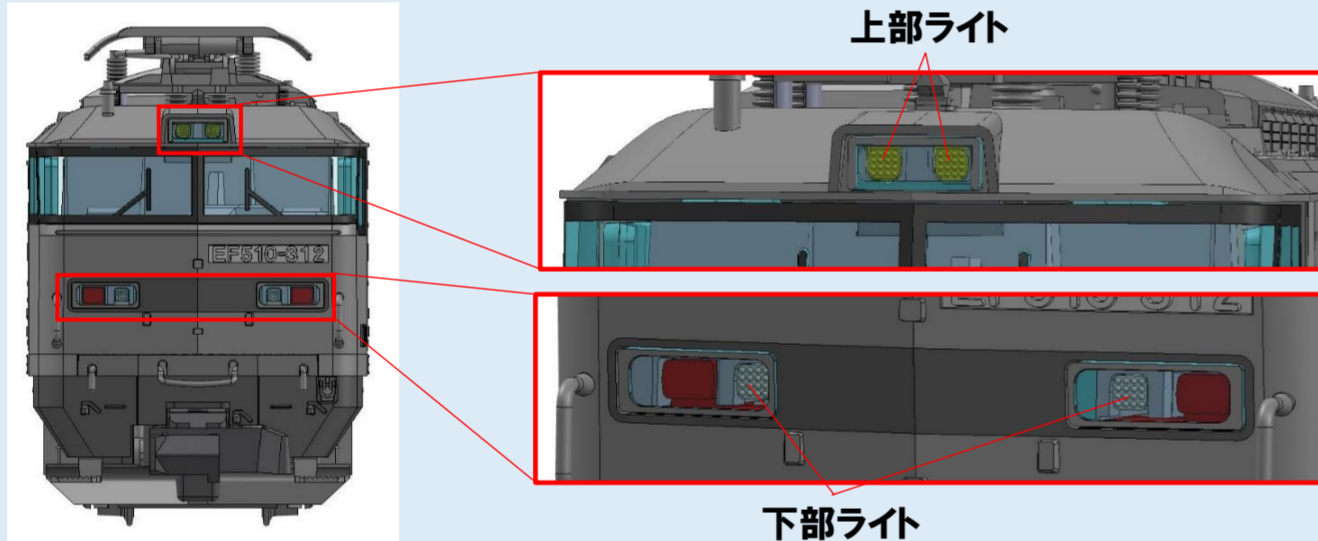
POINT:1

EF510形300番代の量産車が登場！各部分の301号機との違いを再現いたします



POINT:2

上部・下部共にヘッドライトがLEDとなった姿を再現
粒状の彫刻で再現の上、白色で点灯

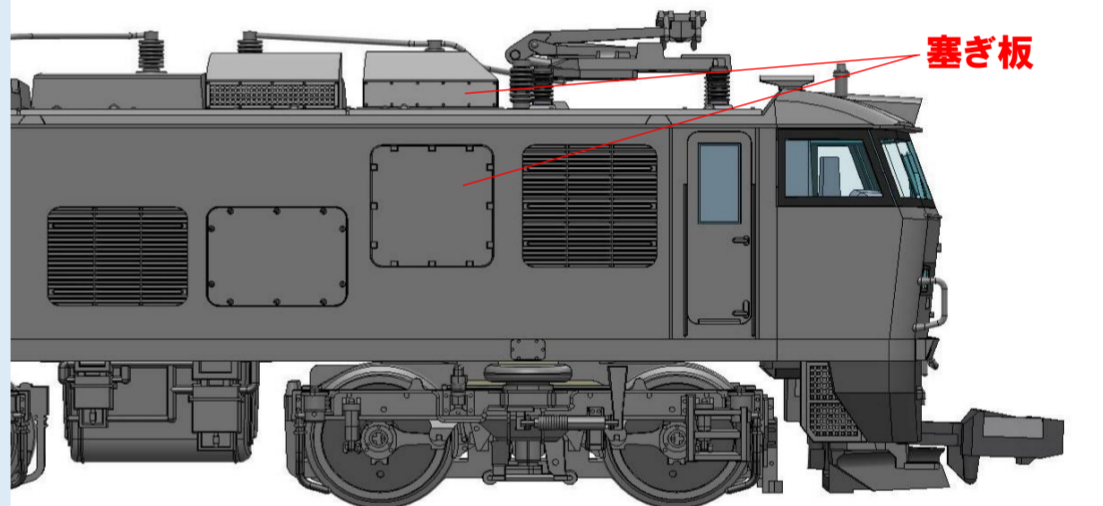


上部ライト

下部ライト

POINT:3

量産先行車(301号機)とは異なる一部のルーバーに新たに塞ぎ板の付いた車体側面・屋根上機器の形状を新規製作で再現



塞ぎ板

各画像は試作、開発中のものです 実際の製品仕様とは異なる場合があります

◆製品化特徴

- ・九州地区用のEF510形300番代の量産車を再現
- ・301号機とは異なる側面、屋根上機器を新規製作で再現
- ・ヘッドライトにLEDの粒彫刻を再現
- ・JR FREIGHTマーク、「RED THUNDER」ロゴ印刷済
- ・ヘッドライトは常点灯基板装備
- ・ヘッドライトは白色LEDによる点灯
- ・テールライトは非点灯
- ・運転台シースルー表現
- ・FPS5Bパンタグラフ搭載
- ・解放テコ、スカート内のジャンパ栓は別パーツを装着済
- ・信号炎管、ホイッスルは別パーツ付属
- ・ナンバープレートは別パーツ付属「EF510-303・306・309・312」
- ・前面手すり(縦)は別パーツ付属
- ・自連形ダミーカブラー・自連形TNカブラー付属
- ・フライホイール付動力、グレー台車枠、銀色車輪採用
- ・一体プレート輪心付車輪採用
- ・M-13モーター採用

～ぜひとも併せて楽しみたい！おすすめのコンテナ～
農作物を運ぶ通風コンテナ！V19B・V19C



日本最南端の貨物駅、鹿児島貨物ターミナル駅を発つ貨物列車には、離島を含む鹿児島県産の馬鈴薯(ジャガイモ)を運ぶ通風コンテナを季節によりみることが出来ます

EF510形と合わせて、ぜひお楽しみください

九州地区の貨物列車けん引機、TOMIXでぜんぶ勢ぞろい。



EF81形300/400番代



EF81形450番代



EH500形 門司機関区



写真:宇都宮 靖顕

ED76形1000番代

品番	7195	品名	JR EF510 300形電気機関車	セット両数	1両
発売月	2025年7月	JANコード	4543736071952	予価	¥9,680 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース

JR貨物承認済